

## 庄内町保健医療福祉推進委員会議事録

開催日時：平成27年1月22日（木）午後1：30～3：18

場 所：余目保健センター

出席委員：菅原源也、齊藤学、太田博之課長補佐（庄内総合支庁地域保健福祉課長代理）、佐藤昭一、佐藤トク、小林義廣、大隅香子、富樫良秋、本田一夫、齋藤里美、渡會弘喜

出席職員：佐藤保健福祉課長、高山課長補佐兼健康推進係長、長南主査兼健康福祉係長、佐藤主査兼介護保険係長、加藤主査兼福祉係長、齋藤臨時給付金係長、保健師井上久野第6期介護保険事業計画より…保健師高田美幸、主任柿崎陽子

内容は次の通り

### 1 開会

2 あいさつ 課長 今回3回目で抜けているところ、ご意見頂き、慎重に審議して頂きたい。来週早々に答申し、パブリックコメントを実施予定でいる。

### 3 協議

#### (1) 健康しょうない21計画（第2次）改訂版について

高山課長補佐より説明（資料1）

・各項目の今後の取り組みを提示している。

・本日、新たに配布した資料について説明

P16 がん検診の評価指標について、がん検診の受診率増加を追加している。

P41 健康づくり推進員は仮称だが、健康づくり事業を推進していくことを目指してきたことを修正する。

第4章 資料編を追加している。P61～調査の内訳、質問票について、P71～小・中学校のアンケートの内訳を掲載

・前回ご意見のあった点で修正したところについて

コンビニ弁当についてはP47の町民が取り組むことに外食や食品の購入についての注意するよう一文を追加している。

ノンアルコールの件についてはP54に一文を追加している。

#### 【質疑等】

菅原委員：P21、中性脂肪の値、300の数値の判定基準は正しいのか。

高山補佐：中性脂肪150以上が基準外で300以上は検診センターの要精密検査の値からしている。要受診者の対象者が増加しないように評価指標に追加している。

齋藤委員：目標値の評価について、目標指標の30項目は何から基づいているのか。

高山補佐：各分野で評価指標を設定している。結果的に30項目にした。分野別の指標の評価を合わせている。それぞれで見るのではなく、一覧で見られるものを検討している。

富樫委員長：目標と町民の取り組みが「しましょう」「しょう」の呼びかけが、分野別に分

かりやすい。「しなさい」でないのが良い。きっと頑張りたいと思う人が増えるだろう。

若いお母さん達がお弁当を作ることを嫌がらず、頑張っって欲しい一文も加えて欲しい。

本田委員：健康寿命という言葉をよく耳にするようになった。健康寿命を伸ばすには、これら今日の資料をみても、全部関連しており介護につながっていく。結局、この計画で重要な生活習慣の改善をもっと町民にアピールし、厳しく周知していくべきと思う。

高山補佐：広報等を利用し、PRはしているが、関心ある人は一部である。もっと組織的に広げられるような働きかけを10年掛かるかもしれないが行っていききたい。

本田委員：職域で受けている人はどのように健康管理されているか。

高山補佐：それぞれの保険者で管理されている。研修会で共済けんぽの報告を受けることはある。

菅原委員：特定健診後の二次健診・精健の受診率はどのようになっているか。

高山補佐：がん検診は回報書で把握している。特定検診は要受診者（血圧、血糖値、腎疾患、コレステロール）に電話等かけて確認している。一覧表を作成し、管理している。

小林委員：建設業であり建設国保に加入している。安全パトロールがあり、要精検者の管理されている。対象一覧が届き、要精検者の方からは、受診後に結果持ってきてもらうようにしている。最近特定保健指導対象者の連絡もあり30分、指導のために時間をさいてほしいと依頼あり、指導してくれるようになり助かる。職場で亡くなった人は検診結果が悪かった。受診後のチェック体制がないと意味がない。

大隅委員：先ほど意見のあったお母さんのお弁当作りの件で、お母さん方は頑張っているの、その一文を載せると、頑張らなくなりそうで考慮して欲しい。あるTVで40～50代女性の高血圧が増加していると知った。結婚していない独身者にも増加。これからも増えていくので、小さい時から管理していけるような指導が必要ではないか。

高山補佐：頂いた意見を計画に入れるか検討する。

本田委員：今回の広報にパブリックコメントについて掲載されていたが、意見のあった場合は計画の中身は変更されるのか。

高山補佐：説明して理解してもらおう。内容によっては取り入れることもある。これまでのパブリックコメント後に変更した例はないが、総合的に判断する。

本田委員：10月に総務文教厚生常任委員会視察に3県にまたがり視察に行っているが、この視察で得たことは今回の計画に反映されているのか。

高山補佐：今回の計画にも取り入れている。新しい組織づくりに関して参考にさせて頂いた。また総務文教厚生常任委員会と3、4回情報交換し、保健医療福祉推進委員会の意見等を報告しながらすり合わせしながら進めている。

(2) 庄内町高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画について

佐藤主査より説明（資料2）

パブリックコメント1/26→2/24に修正。

2/21 説明会の場所 AM響きホール→第3公民館に修正。

PM狩川公民館→立川老人福祉センターに修正。

2/24 議会全員協議会→2/19に修正。

【質疑等】

本田委員：保険料について段階別になっているが、料金設定について町独自に考えることはないか。

佐藤主査：P67にあるように第9段階の設定方法に基づいて決める。町単独はできない。標準的に合わせていきたい。

本田委員：費用負担で2割負担になる人もいるが、その対象者の判断はどこでどのように行うのか。

佐藤主査：P3にあるように所得に応じて決める。介護保険係で所得の確認をする。申請方式で必要な通帳を見せて頂くか、銀行に照会をかけ確認する。

本田委員：今回の制度改正は難しい。制度的にやらなければならないことだが、6期を明確にできるものが欲しい。5期に送付していたパンフレットは6期でも配布するのか。このパンフはわかりやすので、同じようなものを町民に配布し、理解してもらうことが重要だ。

佐藤主査：6期も同様のパンフレットを配布予定でいる。

本田委員：平成25年度の決算で、特別会計で200万の繰越はどうなっているのか。

佐藤主査：2000万の修正ですが、基金制度に戻している。

(3) 庄内町障がい者計画（第2期改訂）・障がい福祉計画（第4期）について

齋藤係長より説明（資料3）修正等についての説明

【質疑等】

齋藤委員：障がい者計画について、一般の方にも、町の子でこんな施設に通っている、サービスを受けている等知って欲しいので、ぜひ周知してほしい。

(4) その他

本田委員：ほたるドームに行く度に、いつも10人程歩いている人がいる。1時間の運動で4km、40分歩いている。半月盤損傷したが、歩くようになって改善している。

渡會委員：ノルディックウォークをお勧めです。

障がい者の運動指導の研修会に出て資格を取る。障がい者の方にも運動を広めていきたい。いつでも、どこでも、声をかけて頂ければ出向くのでよろしく。

大隅委員：集落によって5の付く日、5・15・25日に運動し、自主的に活動している（館）

誰か、音頭取りしてサロン等で運動を自主的に活動に取り組めると良い。  
富樫委員長：個人の取り組みは難しいが、皆と一緒に、集落単位で取り組めると良い。しかし、固定した人が参加する傾向があるので、出てこない人にも頑張って集められると良い。

#### 4 その他

○今後のスケジュールについて

1/26（月）答申、月曜日からパブリックコメント各公民回に用紙を設置する。

2/19 条例改正、障害計画は皆に周知する。

○来年度は2回予定

母子保健計画策定の改訂ある。

#### 5 閉会